



# 国際医療リスクマネジメント学会

## チーム医療安全(基礎)研修会・2016夏季

(第2回)

### 主催者の挨拶

今日の医療現場は、患者を中心として医師、看護師、薬剤師、臨床工学士など多職種・チーム医療が展開されています。医療事故の多くの原因は、院内における適切なチーム連携の欠陥です。

チーム医療では、患者の個人情報、投薬される医薬品、他の医療職で実施される医療行為など、様々なリスク情報をチーム医療で共有することが、臨床安全には不可欠です。さらに、多職種の職員たちが安全な医療を円滑に実施できるためには、医療安全管理者の適切なリーダーシップも不可欠です。

以上の理由から、2015年度から学会認定「チーム医療安全」資格制度を実施しました。本資格の目的は、チーム医療に対する高度な医療安全管理者を育成し、臨床現場でしばしば困難なチーム医療上の諸問題を解決するリーダーとして、安全で信頼される医療を推進することです。

なお、医療安全文化の向上には、より高度な知識と機能を有する高度医療安全管理者が不可欠です。そこで、2015年度から日本医療安全学会の協力の下、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度を開始しました。本プログラムはこの認定資格取得における必須科目でもあります。

本研修会により、あなたの医療機関におけるチーム医療での安全文化が構築でき、患者・家族により信頼され、納得される医療を構築します。

2016年4月

酒井 亮二 (国際医療リスクマネジメント学会理事長、日本医療安全学会理事長)

主催者一同